



保護対象サイトとリカバリ  
サイトのリソースの設定  
ONTAP tools for VMware vSphere 10

NetApp  
November 04, 2025

# 目次

保護対象サイトとリカバリ サイトのリソースの設定 .....	1
ネットワーク マッピングの設定 .....	1
フォルダ マッピングの設定 .....	1
リソース マッピングの設定 .....	2
プレースホルダ データストアの設定 .....	3
アレイ マネージャを使用したSRAの設定 .....	3

# 保護対象サイトとリカバリ サイトのリソースの設定

## ネットワーク マッピングの設定

保護されたサイトの各リソースをリカバリ サイトの適切なリソースにマッピングできるようにするには、両方のサイトで VM ネットワーク、ESXi ホスト、フォルダーなどのリソース マッピングを構成する必要があります。

次のリソース構成を完了する必要があります。

- ネットワーク マッピング
- フォルダ マッピング
- リソース マッピング
- プレースホルダ データストア

開始する前に

保護されたサイトと回復サイトを接続する必要があります。

手順

1. vCenter Server にログインし、**Site Recovery > Sites** を選択します。
2. 保護されたサイトを選択し、[管理] を選択します。
3. 新しいネットワーク マッピングを作成するには、管理タブで [ネットワーク マッピング] > [新規] を選択します。
4. ネットワーク マッピングの作成ウィザードで、次の操作を行います。
  - a. \*一致する名前を持つネットワークのマッピングを自動的に準備する\*を選択し、\*次へ\*を選択します。
  - b. 保護サイトとリカバリ サイトに必要なデータ センター オブジェクトを選択し、[マッピングの追加] を選択します。
  - c. マッピングが正常に作成されたら、[次へ] を選択します。
  - d. 先ほど逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、[完了] を選択します。

結果

[Network Mappings] ページに、保護対象サイトのリソースとリカバリ サイトのリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても同じ手順を実行します。

## フォルダ マッピングの設定

保護されたサイトと回復サイト間の通信を可能にするには、それらの間でフォルダーをマップする必要があります。

開始する前に

保護されたサイトと回復サイトを接続する必要があります。

## 手順

1. vCenter Server にログインし、**Site Recovery > Sites** を選択します。
2. 保護されたサイトを選択し、[管理] を選択します。
3. 新しいフォルダー マッピングを作成するには、[管理] タブで [フォルダー マッピング] > [フォルダー] アイコンを選択します。
4. Create Folder Mappingウィザードで、次の手順を実行します。
  - a. \*名前が一致するフォルダーのマッピングを自動的に準備する\*を選択し、\*次へ\*を選択します。
  - b. 保護サイトとリカバリ サイトに必要なデータ センター オブジェクトを選択し、[マッピングの追加] を選択します。
  - c. マッピングが正常に作成されたら、[次へ] を選択します。
  - d. 先ほど逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、[完了] を選択します。

## 結果

[Folder Mappings]ページに、保護対象サイトのリソースとリカバリ サイトのリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても同じ手順を実行します。

# リソース マッピングの設定

仮想マシンがいずれかのホスト グループにフェールオーバーするように構成されるように、保護サイトとリカバリ サイトでリソースをマップする必要があります。

## 開始する前に

保護されたサイトと回復サイトを接続する必要があります。



VMware Live Site Recovery では、リソースはリソース プール、ESXi ホスト、または vSphere クラスターになります。

## 手順

1. vCenter Server にログインし、**Site Recovery > Sites** を選択します。
2. 保護されたサイトを選択し、[管理] を選択します。
3. 新しいリソース マッピングを作成するには、管理タブで リソース マッピング > 新規 を選択します。
4. Create Resource Mappingウィザードで、次の手順を実行します。
  - a. \*一致する名前を持つリソースのマッピングを自動的に準備する\*を選択し、\*次へ\*を選択します。
  - b. 保護サイトとリカバリ サイトに必要なデータ センター オブジェクトを選択し、[マッピングの追加] を選択します。
  - c. マッピングが正常に作成されたら、[次へ] を選択します。
  - d. 先ほど逆マッピングを作成するために使用したオブジェクトを選択し、[完了] を選択します。

## 結果

[Resource Mappings]ページに、保護対象サイトのリソースとリカバリ サイトのリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても同じ手順を実行します。

# プレースホルダ データストアの設定

保護対象の仮想マシン (VM) 用の場所をリカバリサイトのvCenterインベントリに確保するために、プレースホルダデータストアを設定する必要があります。プレースホルダVMは数百キロバイト以下しか使用しないため、プレースホルダデータストアはそれほど大きくする必要はありません。

開始する前に

- 保護されたサイトと回復サイトを接続する必要があります。
- リソース マッピングを構成する必要があります。

手順

1. vCenter Server にログインし、**Site Recovery > Sites** を選択します。
2. 保護されたサイトを選択し、[管理] を選択します。
3. 管理タブで プレースホルダ データストア > 新規 を選択して、新しいプレースホルダ データストアを作成します。
4. 適切なデータストアを選択し、「OK」を選択します。



プレースホルダ データストアはローカルまたはリモートに作成し、レプリケートはしないでください。

5. 手順 3 ~ 5 を繰り返して、リカバリ サイトのプレースホルダ データストアを構成します。

# アレイ マネージャを使用したSRAの設定

VMware Live Site Recovery のアレイ マネージャ ウィザードを使用してストレージ レプリケーション アダプタ (SRA) を構成し、VMware Live Site Recovery とストレージ仮想マシン (SVM) 間の対話を有効にすることができます。

開始する前に

- VMware Live Site Recovery で保護サイトとリカバリ サイトをペアリングしておく必要があります。
- アレイ マネージャを構成する前に、オンボード ストレージを構成しておく必要があります。
- 保護されたサイトとリカバリ サイト間のSnapMirror関係を構成して複製しておく必要があります。
- マルチテナントを有効にするには、SVM 管理 LIF を有効にする必要があります。

SRAでは、クラスターレベルの管理とSVMレベルの管理がサポートされます。クラスター レベルでストレージを追加すると、クラスター内のすべての SVM を検出して操作を実行できます。SVMレベルでストレージを追加する場合は、特定のSVMだけを管理できます。

手順

1. VMware Live Site Recovery で、アレイ マネージャ > アレイ マネージャの追加 を選択します。
2. VMware Live Site Recovery でアレイを説明するには、次の情報を入力します。
  - a. 表示名 フィールドにアレイ マネージャを識別するための名前を入力します。

b. **SRA** タイプ フィールドで、\* NetApp Storage Replication Adapter for ONTAP\* を選択します。

c. クラスタまたはSVMへの接続情報を入力します。

- クラスタに接続する場合は、クラスタ管理LIFを入力する必要があります。
- SVM に直接接続する場合は、SVM 管理 LIF の IP アドレスを入力する必要があります。



アレイ マネージャを構成するときは、ONTAP tools for VMware vSphereでストレージシステムをオンボードするために使用したのと同じ接続 (IP アドレス) をストレージシステムに使用する必要があります。たとえば、アレイ マネージャ構成がSVM 範囲である場合、ONTAP tools for VMware vSphereの下のストレージをSVM レベルで追加する必要があります。

d. クラスターに接続する場合は、**SVM 名** フィールドに SVM 名を指定するか、クラスター内のすべてのSVM を管理するには空白のままにします。

e. ボリューム包含リスト フィールドに検出するボリュームを入力します。

保護対象サイト側のソース ボリューム、およびリカバリ サイト側のレプリケートされたデスティネーション ボリュームを入力できます。

たとえば、ボリューム *dst\_vol1* とSnapMirror関係にあるボリューム *src\_vol1* を検出する場合は、保護サイト フィールドに *src\_vol1* を指定し、リカバリ サイト フィールドに *dst\_vol1* を指定する必要があります。

f. (オプション) 「ボリューム除外リスト」フィールドに、検出から除外するボリュームを入力します。

保護対象サイト側のソース ボリューム、およびリカバリ サイト側のレプリケートされたデスティネーション ボリュームを入力できます。

たとえば、ボリューム *dst\_vol1* とSnapMirror関係にあるボリューム *src\_vol1* を除外する場合は、保護サイト フィールドに *src\_vol1* を指定し、リカバリ サイト フィールドに *dst\_vol1* を指定する必要があります。

3. \*次へ\*を選択します。

4. アレイが検出され、「アレイ マネージャーの追加」ウィンドウの下部に表示されていることを確認し、「完了」を選択します。

該当するSVMの管理IPアドレスとクレデンシャルを使用して、リカバリ サイトでも同じ手順を実行します。Add Array Managerウィザードの[Enable Array Pairs]画面で、正しいアレイ ペアが選択されていて、有効化できる状態になっていることを確認します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。